

平成24年第1回定例会(第2日目) 2012.02.22

発言順: 1 田村稔(自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
①リーダーについての市長の考え	0	0	0	0
②地方分権と大都市制度についての市長の所見	0	0	0	0
③ジャイアントパンダの誘致について	0	0	0	0
④中国領事館誘致及びダライ・ラマ来仙時の対応について	0	0	0	0
⑤復興期間(5年)の事業経費と財源の説明, 収支差の財源の見通し	0	0	0	0
⑥新年度の事業の厳選化, 重点化, 復興交付金に対する認識と国への働きかけ	0	0	0	0
⑦復興事業局と他局との連携, 存続期間, 職員増加と復興計画との関係	0	0	0	0
⑧仙台経済ステップアッププラン2012についての市長音意気込み, 重点, 風評被害に対する認識, 閉店数, 東北復興パーク拠点となる施設の規模, 運営体制	0	0	0	0
⑨ホテルの減少とコンベンション開催のための環境整備の関係	0	0	0	0
⑩六魂祭を仙台で開催する時の場所の提案	0	0	1	1
⑪児童クラブの現状の把握と今後施策, 利用料金と他都市との比較	0	0	0	0
⑫児童が使う野球場の確保	1	0	0	1
⑬東部地区の住宅再建の見直しの内容, 自治体独自の支援制度の他都市での事例, さらなる市独自の支援の可能性	0	0	0	0
⑭東部地区の集団移転事業と圃場整備事業のスケジュールと双方の調整	0	0	0	0
⑮東部地区の住宅再建・地域再生に取り組む市長の決意	0	0	0	0
⑯復興公営住宅の供給数と運営について	0	0	0	0
⑰仙台駅東西自由通路の効果, 西口駅前再開発計画, X橋かけかえ工事の進捗率, 完成見通し	0	0	0	0
⑱地下鉄東西線国際センター駅周辺整備のスケジュール	0	0	0	0
⑲地下鉄駅に災害時の避難施設を設ける必要性	0	0	1	1
⑳高齢者入居施設の現状と課題, 今後の整備計画	1	0	1	2
㉑市立病院移転新築の課題と決意	0	0	0	0
	2	0	3	5

【コメント】

③⑤⑦⑧⑪⑫⑬⑭⑯⑰⑱⑳の中には, 事前に担当者に確認すれば足りる質問が多数含まれている。市が直面する課題について一般論を述べ, 不明部分を尋ねるという質問パターンは改善の必要がある。⑬の「大規模災害で自治体が独自の支援体制を創設した事例の有無」などは, 政務調査費を使って調査し, その事例と仙台市の今回の支援策を比較して質問する必要がある。

平成24年第1回定例会(第2日目) 2012.02.22

発言順: 2 佐藤わか子(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①復興庁に最も期待するもの	0	0	0	0
②復興予算に対する評価制度, チェック体制, 実効性の確保手段	1	0	2	3
③新たに設置する復興事業局と関係機関との連携	1	0	2	3
④今までの被災者生活再建支援の取り組みの検証と問題点	1	0	2	3
⑤復興事業局の中のまちづくり部にコーディネーターの必要性	1	0	2	3
⑥復興公営住宅にコレクティブハウスを設ける有益性とアイデアを集める必要性, 集団移転事業と復興公営住宅事業の連携	1	1	2	4
⑦市のエネルギー政策について	1	0	2	3
⑧観光と国際コンベンションの誘致について	1	0	1	2
⑨農と食のフロンティアプロジェクトに関して	0	0	1	1
⑩待機児童の問題について	0	0	1	1
⑪指定避難所のあり方について	0	0	1	1
⑫3月11日と6月12日の位置づけ	0	0	1	1
	7	1	17	25

【コメント】

②~⑥は復興事業に含まれる問題点を的確に指摘し, 進む方向性も明らかにした優れた質問。
⑦も同様に優れた質問。

平成24年第1回定例会(第2日目) 2012.02.22

発言順: 3 佐々木両道(復興仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①仙台経済ステップアッププランを数値目標を持って進行管理すべき必要性	0	0	0	0
②仙台市の将来のために地下鉄東西線を推進する必要性	0	0	0	0
③市長のさらなる強いリーダーシップと都市経営の大胆な取り組みの必要性	0	0	0	0
④予算の執行残と職員の意識改革等についての市長の所見	0	0	0	0
⑤県道塩釜亘理線の二重防御が見直しとなったことについての解決策	0	0	0	0
⑥未就学児の医療費助成の枠拡大と今後の目標	0	0	1	1
⑦待機児童問題	0	0	1	1
⑧震災対応を踏まえた男女共同参画の意義	1	0	0	1
⑨指定管理者が置かれている団体及び外郭団体の職員の増員の必要性	0	0	1	1
⑩指定管理者制度の検証の必要性	0	0	1	1
⑪特別自治市を目指していく必要性	0	0	0	0
	1	0	4	5

【コメント】

③「市長の強いリーダーシップ」「大胆な取り組み」とは震災基金の増額、復興事業局の増員以外にあるのかどうか、この2つが問題ならそれに絞ってその必要性を具体的に追求すべき。
 ④執行残の理由を調査し、合理的な理由のない執行残を具体的にあげて追及すべき。
 ⑤質問者は解決策を持っているのかどうか。あるならそれを提示すべき。国の対応の悪さを市にぶつけて意味があるのかどうか再考すべき。
 ⑥外郭団体がなぜ多くの臨時職員を抱えているのか、その理由を調査し、それを踏まえて質問するべき。質問者の主義主張の開陳が優先している。「調査なくして質問なし」

平成24年第1回定例会(第3日目) 2012.02.23

発言順: 1 菊地昭一(公明党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①復興の取り組みについての市長の所見と決意	0	0	0	0
②荒浜における災害危険区域指定の問題について	1	0	1	2
③被災者に対する丁寧な説明の必要性	0	0	1	1
④自治体間の災害支援	0	0	2	2
⑤水族館の荒井地区への誘致	0	0	1	1
⑥職員の意識改革の進め方	0	0	0	0
⑦防災集団移転促進事業の対象世帯数, 移転候補地決定の時期	0	0	0	0
⑧復興公営住宅の今後の取り組み, 入居資格, 優先順序, 設計	0	1	1	2
⑨防災集団移転対象外の地域に対する支援策の周知方法と今後の取り組み	1	0	0	1
⑩東京都に対する被災地支援の営業活動の必要性	1	0	2	3
⑪農と食のフロンティアプロジェクト	1	0	2	3
⑫他の自治体の瓦れきの受け入れ方針, 稼働期間の延長の必要性	1	0	1	2
⑬瓦れきの再資源化の予定	0	0	0	0
⑭防災会議の委員の数, 女性の視点, 市民の代表を入れる必要性	1	0	2	3
	6	1	13	20

【コメント】

⑦⑧⑫⑬などは事前に担当者に尋ねてから質問すべき。
 ②③の被災者に対する市の説明の何がどのように十分でないか調査結果を突きつけて質問する必要がある。
 ④⑭などは重要なテーマであり, 継続的・組織的な調査を行い, 具体的な案を持った上で質問すべき。

平成24年第1回定例会(第3日目) 2012.02.23

発言順: 2 ふるくぼ和子(日本共産党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①災害危険区域の指定をいったん外す必要性と移転対象区域以外でも集団移転できるよう支援する必要性	0	1	1	2
②防災集団移転促進事業による集団移転が行われるところのまちづくりの必要性	0	0	1	1
③東部地域の農業の再生	0	0	0	0
④被災した中小零細事業者への直接支援制度	0	1	2	3
⑤一部損壊住宅の修繕に市が助成する制度の創設	0	1	2	3
⑥市が直接職員を雇用する必要性	1	0	1	2
⑦雇用のルール作りの必要性	0	1	1	2
⑧傾いた自宅を修復し地盤強化し生活を取り戻させる制度の必要性	0	1	2	3
⑨生活再建支援制度の改善を国に求める必要性	0	0	1	1
⑩被災者支援の各種減免制度の延長の必要性	0	0	1	1
⑪敬老乗車制度の新制度移行を延期する必要性	0	0	1	1
⑫介護保険料の大幅減額を据え置く必要性	0	0	1	1
⑬国民健康保険料の引き下げの必要性	0	0	1	1
⑭18歳未満の子供と妊産婦と胎児を対象とした放射能の影響の経年管理の必要性	0	0	2	2
⑮単独調理校の給食の放射能測定の必要性	1	0	2	3
⑯学校給食中、主食と牛乳の放射線量測定とデータの公表の必要性	0	0	1	1
⑰ワンコイン負担をやめ子供の医療費助成制度の対象年齢を拡大し、所得制限撤廃の必要性	0	0	1	1
⑱児童クラブの有料化の撤回	0	0	1	1
⑲保育所民営化の見直し	0	0	1	1
⑳地下鉄東西線の財源を市民の生活再建に回す必要性	0	0	0	0
㉑財源構成を思い切って切り替える必要性	0	0	0	0
	2	5	23	30

【コメント】

③⇒農家の主体性と市の責任の明確化が農業の再生(意欲ある農家の協同と地元企業との協力)にどのようにつながるのか、質問の趣旨が不明。
 ⑱⑲⇒保護者の声を幅広く調査し、有料化についてどのように判断しているのか、保育所民営化の前と後で何がどのように悪くなったのか、具体的データを提示して追及すべき。
 ⑳⇒地下鉄東西線事業そのものを止めない限り、予算の組み替えは困難なのではないか。事業開始後に反対しても遅いのではないか。
 ④⑤⑧などは具体的改善案を伴った優れた質問。

平成24年第1回定例会(第2日目) 2012.02.22

発言順: 3 大槻正俊(社民党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①東北の復興にはたす仙台の役割	0	0	0	0
②経済の全体的立ち直りのために必要な施策	0	0	0	0
③放射能汚染対策の拡大と女川原発の稼働の永久停止	0	0	1	1
④特別自治市と本市のめざすべき姿	0	0	0	0
⑤宮城県と仙台市の連携(音楽ホールの改善等)	0	0	0	0
⑥平成24年度予算の目的, 重点, 休止事業等	0	0	0	0
⑦財政見通しと財政運営(国からの復興交付金の確保, 市税収入の確保, 負担増への理解, 工程表と市民の理解, 市債の残高解消の見通し)	0	0	0	0
⑧被災者生活再建支援(仮設入居者の把握, 借り上げ仮設住宅の課題, プレハブ仮設住宅の支援の強化)	0	0	0	0
⑨仙台市防災会議の定数の改定	0	0	0	0
⑩地域防災計画と課題(帰宅困難者, 災害時要支援者, 指定避難所)	0	0	1	1
⑪避難所等への防災対応型太陽光発電の整備	0	0	1	1
⑫農と食のフロンティアプロジェクト(農地復旧及び圃助整備の進捗状況, 新規立地企業の撤退時の対策, 農業サポーター, 認定農業者等の育成, 特区申請)	0	0	1	1
⑬交流促進プロジェクト, 復興誘客促進	0	0	1	1
⑭ジャイアントパンダの導入と対策	1	1	1	3
⑮大量退職に伴う学校管理職等の能力維持	0	0	1	1
⑯市民協力による生活交通運行対策	0	0	0	0
⑰青葉山公園事業	0	0	1	1
⑱買い物弱者支援モデル事業	0	0	0	0
	1	1	8	10

【コメント】

①②④⑤⑥⇒市政が直面する課題をそのまま掲げて当局の所見を尋ねるスタイルの質問は, 抽象論のやり取りに終始する恐れがある。検討が必要。
 ⑦は重要なテーマ。指摘しているそれぞれについてどうするべきか, 会派や議員の考えを明らかにする必要がある。「当局の所見を明らかにしただけ」では質問として不足ではないか。政務調査費を使った組織的・継続的調査が必要。
 ⑩⑫などは徹底して現場調査が必要。帰宅困難者対策なら, そのこと一つをテーマに突っ込んだ調査を行い, 他都市のそれらとの比較も行い, こうするべきであるとの具体的提言を持って質問するべき。課題の羅列は質問のインパクトを薄めてしまう。

平成24年第1回定例会(第4日目) 2012.02.24

発言順: 1 菊地崇良(自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①被災者の生活再建(支援対象から外された理由, 支援対象にする必要性等)	0	0	1	1
②未来へつなぐ安全なまちづくり	0	0	2	2
③地域防災計画	0	0	2	2
④放射能汚染と安全確保	0	0	1	1
⑤経済の活性化(立ち直りの経済的指標, 就労者の技術養成, 人材育成等)	0	0	1	1
⑥地下鉄東西線と津波防災館の誘致	0	0	1	1
	0	0	8	8

【コメント】

②③の視点は優れている。②③はつながる問題。議会としても各現場で得がたい体験をした市職員等から聞き取りを行い、その教訓を地域防災計画に生かしていくための具体的提言を行う必要がある。

平成24年第1回定例会(第4日目) 2012.02.24

発言順: 2 渡辺敬信(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①入札不調の解消策と地元企業の協力	0	0	0	0
②雇用拡大の見通しと地元中小企業への働きかけ	0	0	0	0
③仙台中央卸売市場の使用料の減免処置の延長	0	0	1	1
④新田地区も含めた雨水排水施設対策と七北田川の氾濫防止工事の把握と住民への説明	0	0	1	1
⑤海辺の交流再生プロジェクトと市民及び関係者の意見の反映及び基本構想を固めるまでの期間	0	0	0	0
⑥スポーツ推進の具体的施策	0	0	0	0
⑦地下鉄東西線と(仮称)卸町駅の無料駐輪場の設置	0	0	1	1
⑧市長の今年度の市政運営についての決意	0	0	0	0
	0	0	3	3

【コメント】

①②⇒地元企業の協力が得られれば、入札不調を解決できるのかどうか、その場合の協力とは何か。中小企業に働きかければ雇用が拡大できるかどうか、その場合の働きかけとは何かについて調査に基づく指摘が必要。
⑤⑥⇒担当者からの事前の聴取が不可欠。

平成24年第1回定例会(第4日目) 2012.02.24

発言順: 3 岡部恒司(復興仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①復興に向けての市長の決意	0	0	0	0
②復興事業局の役割・市長の指揮監督の姿勢	0	0	0	0
③市の公報・情報発信の強化	0	0	0	0
④公共事業の入札不調問題と対策	0	0	0	0
⑤地元中企業への支援継続の必要性	0	0	1	1
⑥芸術文化活動の支援策	0	0	1	1
⑦IC乗車券導入について	0	1	1	2
⑧獣害対策	0	0	1	1
⑨市たばこ税	0	0	0	0
	0	1	4	5

【コメント】

①の「顔が見えない」「リーダーシップに対する不満」、③の「情報発信の弱さ」とは何かを具体的に指摘する必要がある。

④の「不調件数・発生率・特徴・国交省の対策」、⑥の「青年文化センター等の施設の再開後の利用状況」、⑧の「ここ3年のイノシシの捕獲数の推移」、⑨の「市たばこ税の市税収入全体における役割」等は事前に担当者に確認しておくべき。

平成24年第1回定例会(第4日目) 2012.02.24

発言順: 4 佐々木真由美(公明党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①復興への姿勢(勢いと女性ならではのきめ細かな視点)	0	0	0	0
②応急仮設住宅の住環境の向上(物置, 風呂保温, 結露防止)	2	0	2	4
③被災者の生活再建支援(地域復興支援員の活用, 高齢者の見守り支援策)	2	0	2	4
④市民の立場に立った支援制度の周知	0	0	1	1
⑤相談体制の強化	0	0	1	1
	4	0	6	10

【コメント】

②③⇒現場調査に基づく優れた質問

平成24年第1回定例会(第4日目) 2012.02.24

発言順: 5 嵯峨サダ子(日本共産党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①宅地被害に対する支援策の充実(年度内事業着手の必要性。具体的障害を取り除く必要性。財源。復興公営住宅。住民の経済的負担をなくす必要性。補助メニューから外れたものへの支援の必要性等)	2	1	2	5
②緑ヶ丘4丁目の宅地被害への対策(集団移転と現地再建のどちらも選べるようにする必要性。支援の枠組みと独自支援の必要性。住民負担軽減の施策。家屋の解体撤去期間の延長)	2	0	2	4
③宅地開発のあり方と宮城県の責任	1	0	1	2
	5	1	5	11

【コメント】

①②⇒調査に基づく優れた質問

平成24年第1回定例会(第4日目) 2012.02.24

発言順: 6 ひぐちのりこ(社民党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①仙台市防災会議の委員の人選と女性・障害者・外国人の声が反映される必要性	2	0	2	4
②福島第一原発事故と食品などの放射能問題(学校給食の検査体制, 保育所での検査の必要性, 人員の増員, 地表面付近の測定の必要性)	1	1	2	4
③児童クラブの開設時間の延長と有料化	0	0	1	1
④復興公営住宅(希望者全員が入居できるようにする必要性, 障害者・高齢者の調査, ニーズの調査と実態にあわせた対応の必要性等)	0	0	0	0
	3	1	5	9

【コメント】

③⇒開設時間の延長と有料化の影響について, 保護者と職員の双方に対し調査を行い, 調査結果に基づき質問すべき。利用料が定額になった根拠や経緯は事前に担当者に確認すべき。
④⇒ニーズと実態を議会自ら調査し, その調査結果に基づき質問すべき。当局の情報にすぎた質問はインパクトに欠ける。

平成24年第1回定例会(第4日目) 2012.02.24

発言順: 7 及川英樹(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①武道必修化と安全の確保	1	0	2	3
②学校給食	0	0	0	0
③市立病院の課題と今後の取り組み	0	0	0	0
	1	0	2	3

【コメント】

②⇒給食の抱える問題の重要度の高いものを1つ2つに絞って、現場調査と専門家の意見を聞き、質問すべき。問題点の羅列は、質問のインパクトを薄める。
③⇒市立病院が抱える課題とは何かを自ら調査し、問題点を抽出し、自らの回答を携えて質問すべき。基礎調査が決定的に欠けている。

平成24年第1回定例会(第5日目) 2012.02.27

発言順: 1 大泉鉄之助(自由民主党)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①宮城朝鮮学園に対する補助金	0	0	0	0
	0	0	0	0

【コメント】

補助金の交付の目的、手続に違反しているかどうかの事実を自ら確認し、質問すべき。

平成24年第1回定例会(第5日目) 2012.02.27

発言順: 2 やしろ美香(自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①津波対策(ソフト面からの対策, 減災と避難のための道路の問題点, 想定を超えた災害への対応, 避難道路とかさ上げ道路の矛盾, 道路整備に瓦れきを再利用する案の問題点)	0	0	1	1
②住宅の再建	0	0	0	0
③心のケア	0	0	0	0
④経済発展(地域商店街の活性化)	0	0	0	0
⑤地域の中小零細企業に対する金融面での支援策	0	0	0	0
⑥交流促進(パンダ, 日本女性会議2012)	0	0	0	0
	0	0	1	1

【コメント】

- ①⇒津波対策と道路整備の間に矛盾があるなら, 個所を特定して具体的に指摘し, 専門家の意見を聞き, どちらを優先すべきなのか, 矛盾の解決策があるならそれを提示し, 何をどうすべきかを示して追及すべき。「問題がある」というだけでは不足。
- ②③⇒質問の趣旨が不明。「行政は市民の気持ちに寄り添っていない」「市民の不安にこたえる心のケアが必要」とは具体的にどのような事実を指すのか, 調査結果に基づき具体的事実を指摘する必要がある。同時に寄り添っていると云えるためには何が必要か, 市民の不安にこたえたと言えるためには何が必要かも提示する必要がある。
- ④⇒これも「地域住民の地元での消費活動」とは何を指すのか, 具体的指摘が不可欠。
- ⑤⇒「震災後の倒産状況」は担当者に尋ねるなどして自分で調べるべき。

平成24年第1回定例会(第5日目) 2012.02.27

発言順: 3 岡本あき子(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①災害時における仙台市の権限(村井知事が意図的に仙台市の仮設住宅の整備を遅らせたか)	1	0	1	2
②被災者の生活再建に向けた取り組み(社協の借り上げ住宅の入居者に対する支援, 地区の特性に応じた支援の方法, 仮設住宅の高齢者に対する生活支援システムの構築, マイナンバー制度)	1	0	2	3
③未来へ繋ぐ安全なまちづくり(宅地被災者の救済制度の周知と救済件数の見込み, 民民の境界線の確定への積極的関与の必要性, 建物除去と各種制度の適用, 期限延長を国に求める必要性, 建物解体の前後によって救済に差が出ないようにする必要性)	1	0	2	3
④観光振興(放射能不安の解消の必要性。秋保, 作並観光特区)	0	0	1	1
⑤来年のDCキャンペーンとシティセールス	0	0	1	1
	3	0	7	10

【コメント】

②③⇒具体的で優れた質問

平成24年第1回定例会(第5日目) 2012.02.27

発言順: 4 渡辺博(復興仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①特別市の実現に向けての進め方	0	0	0	0
②職員の意識改革	0	1	1	2
③子育て環境の就労の機会の向上	0	0	0	0
④仙台市経済ステップアッププラン(期間・姿勢等)	0	0	0	0
⑤中国政府との向き合い方(パンダと中国領事館の土地取得等)	0	0	0	0
⑥水族館計画の現在の取り組み状況	0	0	0	0
⑦市長の政治手法	0	0	0	0
	0	1	1	2

【コメント】

①③④⑥は質問が抽象的すぎる。政務調査費を使い、市政の現場がどうなっているのかを調べて、実態(具体的問題点)を突き付けて追及すべき。一般的課題を提示しただけの抽象的質問は議会の弛緩を生む大きな原因。

平成24年第1回定例会(第5日目) 2012.02.27

発言順: 5 佐藤和子(公明党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①空き家対策(課題の認識と責任の所在, 他都市の事例, 本市の5年間の取り組み, 解体物の所有者に対する連絡方法, 市民への啓発)	1	1	2	4
②児童クラブの拡充(減免対象の拡充, 職員体制の強化, 有料化についての保護者への説明会, 地域ニーズに対応した整備, 児童の安全対策)	2	0	2	4
③女性農業者の育成の必要性	1	0	1	2
	4	1	5	10

【コメント】

- ①⇒過去の同種の質問と答弁を持ち出し, 現在までの取り組みを確認する質問手法は優れている。時間を置いて繰り返し質問することで, その場しのぎの答弁を阻止できる。
②⇒問題点を整理した優れた質問。

平成24年第1回定例会(第5日目) 2012.02.27

発言順: 6 花木則彰(日本共産党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①介護予防・日常生活支援総合事業の導入(しないことを求める)	1	0	1	2
②日常生活圏ごとの地域密着型サービスのニーズ調査(今しっかり行うことが必要)	1	0	1	2
③地域包括支援センター(増設, 人員と運営経費の充実)	1	0	1	2
④特養ホーム増設の必要性	1	0	1	2
⑤国の負担割合を引き上げるよう国に求める必要性	1	0	1	2
⑥介護職員の待遇改善のための交付金のカットに対する市長の行動	1	0	1	2
⑦高齢者福祉施策の充実と介護保障事業以外でニーズを引き受ける努力の必要性	1	0	1	2
⑧敬老乗車制度の改悪(乗車距離や回数に応じた利用料の撤回)	1	0	1	2
⑨国民健康料の賦課方式の変更(反対すべき)	1	1	1	3
⑩国民健康保険の構造的矛盾の打開方法	1	0	1	2
	10	1	10	21

【コメント】

③④⑧⇒増設, 利用料の据え置きを困難にしている原因の分析が不可欠。
⑤⑥⑨⇒国の方針, 施策に反対を表明することの実効性を検討すべき。

平成24年第1回定例会(第5日目) 2012.02.27

発言順: 7 相沢和紀(社民党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①県道塩釜亘理線のかさ上げ工事と震災復興交付金の対象該当性, 最新の情報の周知の不足)	1	0	1	2
②復興財源捻出のアンバランス	1	0	0	1
③住民税の特別負担	1	0	0	1
④復興交付金(他県の申請状況, 仙台市の復興事業との関連性, 新たに必要事業が生じた場合の対応, 減額された場合の対応, 市としての財源確保の見通し)	0	0	0	0
⑤被災者に対する独自支援策の不足	0	0	0	0
⑥指定避難所(県施設の利用, 市と県との協議経過, 指定管理者制度との関係)	0	0	1	1
	3	0	2	5

【コメント】

- ②③⇒市長の見解を明らかにして次どうするのか。見解を引き出しただけでは質問として不十分ではないか。
 ④⇒担当者から事前にデータを提供してもらい, 仙台市の復興事業と復興交付金の関係で最も重要なポイントに絞って質問するべき。「自分が分からないことを聞く」という質問パターンは改善の必要がある。
 ⑤⇒独自支援策の内容について担当者から事前に確認して質問するべき。
 ⑥⇒指定避難所と指定管理者制度との関係は重要な視点。

平成24年第1回定例会(第5日目) 2012.02.27

発言順: 8 早坂あつし(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①入札不調対策(工事価格の見直し, 指導の徹底, 人件費と資材費の高騰, 人手不足等)	0	0	0	0
②市役所の対応と自己(意識)改革	0	0	0	0
③学校給食の牛乳の放射能検査	0	0	1	1
④市長の原発への対応と発送電分離についての見解	0	0	0	0
	0	0	1	1

【コメント】

①⇒入札不調の原因, 市としてとりうるべき対策, それらの対策を市がとっているのかどうかを調査し, それに基づいて質問すべき。
②⇒「対応か横柄」とはどんなことか。どのような弊害を生んでいるか。もっと実地調査して質問すべき。問題点の指摘と原因分析, 改革の方針がいずれも抽象的過ぎる。

平成24年第1回定例会(第6日目) 2012.02.28

発言順: 1 加藤和彦(自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①市の将来ビジョンの不明確性と復興実施計画の緊迫感の欠如	0	0	0	0
②製造業の復興に取り組む必要性(仙台塩竈港の将来ビジョン, 道路網整備)	0	0	1	1
③関連産業の集積	0	0	0	0
④医歯工連携・健康福祉分野への支援の必要性	0	0	1	1
⑤伝統地場産業の行く末を豊かにする施策	0	0	0	0
	0	0	2	2

【コメント】

①⇒市の将来ビジョンと復興実施計画の緊迫感の関係が不明確。直接の関係はないのでは。
③④⇒これまでの企業誘致・企業支援を過去に遡って調査し、仙台市の手法に何が欠けていたのか、それをどのようにすれば効果が出るのか、調査結果と自らの考えを開示して質問すべき。

平成24年第1回定例会(第6日目) 2012.02.28

発言順: 2 安孫子雅浩(市民フォーラム仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①地域包括ケアシステム構築の視点	0	0	0	0
②地域防災計画の見直し作業と災害弱者	0	0	0	0
③地域包括支援センターの充実(二枚看板, 二次予防事業への保健師の配置, 相談窓口, 要支援者の地図の変動)	2	0	2	4
④行き場のない要介護・要医療高齢者の対策	1	0	2	3
⑤認知症高齢者の対策	1	0	1	2
⑥高齢者の住まい	1	0	2	3
⑦介護保険制度の問題点(保険料負担, 待機者数の増加, 居宅サービスを中心とすることの課題, 医療との連携不足, 低所得者対策, 介護職員の離職率の高さと処遇の問題)	2	0	2	4
⑧社会保険と税の一体改革(地方財源の調達ができるか)	0	0	1	1
⑨特別自治市と自治体としての自立及び市長の覚悟	0	0	0	0
⑩スポーツ・文化施策(仙台国際ハーフマラソン・仙台カップの開催)	0	0	1	1
	7	0	11	18

【コメント】

③④⑤⑥⑦⇒いずれ重要なテーマ。引き続き会派をあげて調査を継続し, 他都市との比較も行い, 繰り返し質問を行うべき。

平成24年第1回定例会(第6日目) 2012.02.28

発言順: 3 高橋次男(復興仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①震災復旧, 復興等の記録誌の編さん	1	1	2	4
②津波への啓発	2	1	2	5
③八木山動物公園ビジターセンターからの景観の保全	2	0	2	4
	5	2	6	13

【コメント】

- ①②⇒重要な視点。他都市(神戸市, 奥尻島)の例をひいた優れた質問。
③⇒現地調査をふまえた優れた質問。

平成24年第1回定例会(第6日目) 2012.02.28

発言順: 4 鈴木広康(公明党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①被災学校のプレハブ仮設校舎の問題点(建設状況, 乾燥, トイレ)	2	0	2	4
②学校における防災対応, 防災教育(マニュアル, 防災教育, 防災担当主任)	2	0	2	4
③防災, 減災に向けた社会資本整備	1	0	1	2
④特別自治市に向けての行政経営	1	1	1	3
⑤二重ローン対策	1	0	1	2
⑥災害に強い電子自治体に向けての方策	1	0	1	2
	8	1	8	17

【コメント】

- ①⇒現場調査に基づく優れた質問
②は重要なテーマ。引き続き調査し, 繰り返し質問する必要がある。

平成24年第1回定例会(第6日目) 2012.02.28

発言順: 5 小野寺淳一(みんなの党・みんなの仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①将来の震災対策(旅行客の避難対策, 車両(列車)内の避難方法, 地下鉄駅舎を避難先にする必要性)	1	1	2	4
②小中学校を指定避難所とすることの可能性と問題点	1	1	2	4
③省電力, 自然エネルギーの促進を図り, 民間開発製品を積極導入する必要性	1	0	1	2
④自立の道が閉ざされている方への支援の必要性	0	0	0	0
⑤中小企業向けの支援策	0	0	0	0
⑥消費税アップについて	0	0	0	0
	3	2	5	10

【コメント】

①②は重要なテーマ。今後も引き続き調査し, 市の対応をフォローしていくことが必要。

平成24年第1回定例会(第6日目) 2012.02.28

発言順: 6 斎藤範夫(自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①り災証明書による被害判定と市民の不満	1	0	1	2
②宅地復旧への支援と被災住宅等の解体・撤去申請期限の延長	1	0	1	2
③仮設住宅の整備と県が市に事務権限を委任しなかった疑い	0	0	0	0
④七北田小学校の地域共生科の創設と効果	1	0	1	2
	3	0	3	6

【コメント】

①⇒判定の差, 判定の変更が生まれた原因の調査が不可欠。

平成24年第1回定例会(第6日目) 2012.02.28

発言順: 7 鈴木繁雄(自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①自転車対策(過去の議論の経過, 一昨年6月の答弁以降の対策, マナーの悪化, 今日的対策の必要性, 仙台市の走行安全環境, 事故の危険性の増大と放置自転車の増加に伴う社会問題化, 関係者との連携の必要性, マナーアップの徹底)	2	2	2	6
②応急仮設住宅の供与期間の延長と知事から市長への権限移譲処置の必要性	1	0	1	2
③復興公営住宅の供給目標とその根拠。目標の変更の可能性	0	0	0	0
④被災者に対する消費税減免の必要性	0	0	0	0
	3	2	3	8

【コメント】

①⇒一つのテーマを一貫して追及することの重要性を教えられる質問。他都市との比較も行った優れた質問。

平成24年第1回定例会(第6日目) 2012.02.28

発言順: 8 花木則彰(日本共産党仙台市議団)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
①職員の給与カット(不明なカットの理由, 復興財源に充てるのかどうかも不明。給与カットによる地域経済への悪影響。財源不足にあてることの本末転倒。人命救助の先頭に立った消防職員等の給与カットの不合理性)	1	0	2	3
②復興財源の不足の欺瞞性	1	0	0	1
③マンパワーの確保の必要性(技術者不足, 保育所の定数割れ)	1	0	1	2
	3	0	3	6

【コメント】

②⇒地下鉄東西線の新年度の積み上げの中止は(工事そのものを中止にしない限り)困難なのではないか。